

胃薬について

胃の働き、胃の症状

胃は食べ物を一時的に蓄え、胃液と混合するなどして腸から消化しやすくする働きがあります。胃液には、消化を助ける酵素、細菌を殺す強酸性の胃酸、そして酵素と胃酸から内面を保護する粘液が含まれます。

ストレスなどにより粘液による防御機能と胃酸などの攻撃因子のバランスが崩れると胃粘膜が損傷を受けると胃痛、暴飲暴食や加齢などにより胃の運動機能が低下すると胃もたれ、胃酸分泌過多になると胸やけといった様々な症状が現れます。

OTC 医薬品の使用が適切かどうか判断しよう

激しい胃痛など症状が強い場合、何度も吐くなど症状が持続する場合、血便などの異常がみられる場合、OTC 胃腸薬を服用しても症状が治まらない場合は速やかな受診を。また、左上腹部の痛みでは腎疾患の可能性、早朝に症状が出る場合は潰瘍の可能性など、発現部位や発現時間によって受診を考えた方がよい場合があります。

症状が軽い場合、暴飲暴食やストレスなど症状が起きた原因に心当たりがある場合などは、OTC 胃腸薬で様子を見てよいと思います。

OTC 胃腸薬にはどのようなものがあるのか

OTC 胃腸薬には、様々な症状に応じた種々の成分が含まれています。また、これらの成分を含む胃腸薬の他、安中散や芍薬甘草湯のような漢方薬があります。

分類	成分例	作用・特徴
胃酸分泌抑制成分	ファモチジン	胃酸の分泌を抑制する
制酸成分	酸化マグネシウム	胃酸を中和し、酸度を下げる
鎮痛・鎮痙成分	カンゾウ	胃の炎症を鎮め、胃粘膜を修復し、痛みを鎮める
胃粘膜修復成分	スクラルファート	胃粘膜に保護膜を形成する
健胃成分	オウバク	中枢神経を刺激し、唾液や胃液の分泌を促進する
消化成分	ジアスターゼ	消化酵素
整腸成分	ビフィズス菌	善玉菌を増やし、腸内環境を整える

OTC 胃腸薬の選び方や使い方で注意したいこと

OTC 胃腸薬の選び方

胃酸過多の場合は胃酸分泌抑制成分や制酸成分を含む胃腸薬、食べすぎで胃がもたれる場合は消化成分を含む胃腸薬など、症状に合う OTC 胃腸薬を選ぶことが大切です。

症状・特徴	成分・薬の例	OTC 胃腸薬と服用例
食べすぎによる胃もたれ	消化・健胃	太田胃酸 A<錠剤>を食後に服用
ストレスが原因の胃痛	漢方薬	ストレージ I を服用
差し込むような痛み	鎮痛鎮痙	ブスコパン A 錠を服用
胃酸過多で胸やけ、胃痛	胃酸分泌抑制	ガスター 10 を就寝前に服用
胃が重い、吐き気がある	健胃・消化	新セルベール整胃<錠>を食後に服用
様々な症状がある	総合胃腸薬	第一三共胃腸薬を食後に服用

OTC 胃腸薬の使い方で注意したいこと

『第一三共胃腸薬[細粒]a』の添付文書を一例として、添付文書の読み方を示しました。薬を安全に使うためには、添付文書をよく読み、内容を理解することが大切です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと
(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないで下さい。
透析療法を受けている人
- 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。
胃腸鎮痛鎮痙薬
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。
(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります)
- 長期連用しないで下さい。

🗨 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 高齢者
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(5) 次の症状のある人
排尿困難
(6) 次の診断を受けた人
腎臓病、心臓病、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

- 服用後、次の症状があらわれたことがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
口のかゆみ、便秘、下痢
- 2週間位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

📌 その他の注意
母乳が出にくくなる場合があります。

- 制酸剤に含まれるアルミニウムやマグネシウムは腎排泄だが、腎障害時は排泄されにくく体内に蓄積される恐れがある。透析患者でアルミニウム含有製剤によりアルミニウム脳症やアルミニウム骨症を発症した報告があるため。
- 鎮痛・鎮痙成分が重複。副作用発現の確率が增大するため。
- ロートエキスは母乳に移行することが知られており、その母乳を乳児が摂取すると脈を早めることがある。

(2) ロートエキスにより胎児に顔面が現れることがあるため。
(5) ロートエキスの抗コリン作用により、排尿筋の収縮が抑制され、排尿困難となる恐れがある。
(6) 腎臓病：腎臓病による排泄機能低下により、制酸剤に含まれるアルミニウムやマグネシウムの排泄が遅延して副作用を起こす恐れがある。
心臓病：ロートエキスの抗コリン作用により、心拍数が増加して心臓の負担を増加させる。
緑内障：ロートエキスの抗コリン作用により、房水水路が狭くなり、眼圧が上昇し、緑内障を悪化させる恐れがある。

- 口の渇き：ロートエキスの抗コリン作用により、唾液分泌が抑制され、口の渇きを覚えることがある。

便秘：
制酸剤に含まれるアルミニウムにより、便秘となる場合がある。
ロートエキスにより、腸の蠕動運動が抑制されることがある。
下痢：
制酸剤に含まれるマグネシウムにより、下痢をおこすことがある。

ロートエキスにより、母乳が出にくくなる場合があります。

セルフケアとして心がけたいこと

胃の負担を減らす食生活として、刺激の強いものを避ける、消化の良いものを選ぶ、暴飲暴食をしないよう気をつける。また、気分転換するなどしてストレスを溜めないことなど、心がけることが大切です。